

広報

ただみ

2

2019 月号

No. 585
平成31年2月10日



今月の表紙

今月の表紙は、1月27日に開催された「第46回只見毎日杯ジャイアントスラローム大会」で、成年男子4部・男子大回転に出場した只見スキーチームの目黒正さん(只見)です。

目黒さんは、旗門を果敢に攻める力強い滑走で、見事優勝を飾りました。(関連記事:P22)

《特集》

青少年健全育成主張大会及び各種表彰… 2～5

学術調査研究助成事業成果発表会… 6～9

《News&flash》…………… 10～13

《町の話》…………… 14～17



「思いやりの心を大切に」

只見小学校6年
まつなが
松永 佳音さん



「本当の本気」

朝日小学校6年
わたなべ
渡部 美空さん



「高学年になって変わったこと」

明和小学校6年
ふなき
舟木 悠真さん



「ゴミのポイ捨てに思うこと」

只見中学校2年
うの
宇野 心晴さん



～私の想いを届けたい～ 第33回

只見町青少年健全育成主張大会

「将来の夢」

只見中学校3年
さかい
酒井 香苗さん



「努力とは」

只見高校2年
たやま ひなこ
田山日菜子さん



「当たり前」

只見高校2年
さいとう
齋藤 粹さん



「只見大都市化計画」

只見高校1年
はせがわ あきひろ
長谷川晃裕さん





▲主張大会発表者と関係者の皆さん



▲主張大会発表者8名の代表として菅家町長から賞状を受け取る朝日小6年の渡部美空さん



▲大勢の来場者の前で発表した主張大会



▲「子どもたちの考えを知る良い機会となった。夢が実現できるよう支えていきましょう」と講評する小林義弘朝日小校長

1月26日、只見町青少年健全育成町民会議と教育委員会が主催する「第33回只見町青少年健全育成主張大会」が季の郷湯ら里で行われ、約100名が来場しました。

主張大会には、小学生3名、中学生2名、高校生3名の計8名が、学校での経験や普段考えている事、夢や目標、そして只見町のまちづくりへの提案など様々な想いを発表され、その素晴らしいメッセージに会場からは、大きな拍手が送られていました。

その後、「平成30年度芸術文化賞、スポーツ優秀選手賞」と「第42回町民文芸コンクール」の表彰式が行われ、町民の活躍が称えられました。

「平成30年度芸術文化賞、スポーツ優秀選手賞」及び「第42回町民文芸コンクール」の受賞者は次ページののとおりです。



▲芸術文化・スポーツ優秀選手賞の受賞者と関係者の皆さん

平成30年度 芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰者(敬称略)

【芸術文化賞表彰者】

- ▽矢沢実優 (明和小5年) Ⅱ 福島県児童作文コンクール／特選
- ▽菅野慧汰 (只見中2年) Ⅱ 第64回青少年読書感想文全国コンクール福島県審査／準特選
- ▽目黒楓華 (只見高1年) Ⅱ 平成30年度税に関する作文・絵はがきコンクール／国税庁長官賞
- ▽酒井右一 (二般) Ⅱ ①第72回会津総合美術展／会津美術奨励賞②第28回福島県シルバー展／福島県社会福祉協議会会長賞③第42回福島県書道連盟選抜展／特選
- 【スポーツ優秀選手表彰者】
- ▽目黒咲翔 (只見町スキースポーツ少年団) Ⅱ 第70回福島県スポーツ少年団体大会スキー競技会兼、第21回福島県ジュニアスキー選手権競技会／アルペンジャイアントスラローム県大会3位
- ▽鈴木来菜・三瓶楓・橋川綾乃・五十嵐杏・五十嵐陽菜・印南蒼羽・大竹未桜・三瓶心乃花・山田夢空・山中美紅・山本愛佳 (只見中女子バレー部) Ⅱ 平成30年度全会津中学校

秋季バレーボール大会／会津1位

- ▽浅野礼・菅野慧汰・新國楓・目黒巧馬・目黒元基・三瓶奨悟 (只見中男子剣道部) Ⅱ 平成30年度全会津中学校選抜剣道大会／会津1位
- ▽鈴木来菜 (只見中2年) Ⅱ ①第70回福島県スポーツ少年団体大会スキー競技会兼、第21回福島県ジュニアスキー選手権競技会／アルペンジャイアントスラローム県1位②第39回福島県ジュニアアルペン公認記録会／県2位③第38回ジュニアアルペンスキー東北決勝大会／東北1位
- ▽新國太陽 (只見中3年) Ⅱ ①第66回全会津中学校体育大会剣道競技／剣道男子個人会津1位②第70回福島県スポーツ少年団体大会スキー競技大会兼、第21回福島県ジュニアスキー選手権競技大会／アルペンジャイアントスラローム県3位
- ▽目黒楓華 (只見高1年) Ⅱ ①第60回福島県中学校体育大会スキー大会／クロスカントリーフリー県2位②第70回福島県総合体育大会スキー競技／クロスカントリークラシカル県3位
- ▽目黒楓華・鈴木美羽・馬場遊茶 (只見高1年) Ⅱ 第60回福島県中学校体育大会スキー大会／クロスカントリー大会スキー大会

見高1年) Ⅱ 第60回福島県中学校体育大会スキー大会／クロスカントリー

- Ⅰリレー県2位
- ▽目代虎太郎・柴田竜二 (只見高2年) Ⅱ 平成30年度福島県高等学校新人体育大会会津地区大会／卓球ダブルス会津1位
- ▽高橋はるか (南会津高2年) Ⅱ ①第64回福島県高等学校体育大会バレーボール競技会津地区大会／会津1位②第71回福島県総合体育大会／バレーボール県3位③第62回福島県高等学校バレーボール新人選手権大会会津地区大会／会津1位
- ▽鈴木菜美 (南会津高3年) Ⅱ 第64回福島県高等学校体育大会バレーボール競技会津地区大会／会津1位
- ▽山内花 (南会津高3年) Ⅱ 第63回福島県高等学校体育大会スキー競技会／クロスカントリークラシカルフリー県1位
- ▽菅家空 (田村高3年) Ⅱ 第63回福島県高等学校駅伝競走大会／駅伝(団体)県2位
- ▽渡部里咲 (若松商業高3年) Ⅱ 第64回福島県高等学校体育大会弓道競技／弓道(個人)県1位



▲町民文芸コンクール受賞者と関係者の皆さん

第42回只見町民文芸コンクール入賞者(敬称略)

【作文部門】

◎小学生下学年の部▽入選／酒井優(明和小3年) 山内孝輝(明和小2年)▽佳作／目黒冬真(明和小1年) 木津大翔(朝日小3年) 梁取暖(明和小3年)

◎小学生上学年の部▽特選／渡部美空(朝日小6年)▽入選／三瓶咲季(朝日小6年) 佐藤未来(只見小6年)▽佳作／鈴木音緒(只見小6年) 渡部仁奈(朝日小4年) 増田司(朝日小5年)

【詩部門】

◎小学生下学年の部▽入選／鈴木雛乃(只見小3年) 渡部妃咲(朝日小2年)▽佳作／渡部あさひ(朝日小1年) 齋藤寧々(朝日小3年) 佐藤翔(朝日小3年)

◎小学生上学年の部▽佳作／佐藤奈緒(只見小5年) 船木翔空(朝日小4年)

【短歌部門】

◎小学生下学年の部▽特選／齋藤仁(朝日小1年)▽入選／齋藤珀仁(只見小2年) 木津明翔(朝日小1年)▽佳作／野中竜丞(朝日小1年) 木津大翔(朝日小3年) 山内悠愛(明和小3年)

◎小学生上学年の部▽特選／三瓶つかさ(朝日小4年)▽入選／吉津瑞希(朝日小4年) 渡部美空(朝日小6年)▽佳作／五十嵐蓮(朝日小4年) 吉津知巴(朝日小5年) 菅家岳人(朝日小5年)

◎中学生の部▽特選／鈴木莉子(只見中1年)▽入選／三瓶楓(只見中2年)▽佳作／本名真歩(只見中1年) 宇野心晴(只見中2年)

◎高校生の部▽特選／目黒拓海(只見高1年)▽入選／新国理紗(只見高1年) 伊藤彩加(只見高2年)

◎一般の部▽特選／渡部ユキ子(福井)▽入選／齋藤由美子(大倉)▽佳作／吉津久仁子(黒谷)

◎小学生下学年の部▽特選／菅家一晟(只見小1年)▽入選／五十嵐寛真(只見小1年) 増田巧(朝日小2年)▽佳作／湯田桜杏(只見小3年) 齋藤寧々(朝日小3年) 矢沢悠樹(明和小3年)

◎小学生上学年の部▽特選／目黒悠斗(朝日小6年)▽入選／増田司(朝日小5年) 馬場清春(朝日小5年)▽佳作／矢沢魁史(只見小5年)

年) 渡部琉生(朝日小5年) 河原田茜音(明和小6年)

◎中学生の部▽特選／一条光輔(只見中3年)▽入選／目黒元基(只見中1年)▽佳作／川原田波音(只見中2年) 五十嵐せな(只見中3年) 渡部千春(只見中3年)

◎高校生の部▽特選／須佐円果(只見高1年) 入選／鈴木舞花(只見高1年) 渡部美依(只見高2年)▽佳作／小勝高大(只見高1年) 吉津沙優(只見高1年)

◎一般の部▽特選／吉津哲夫(只見)▽入選／五十嵐邦男(只見ホーム)▽佳作／齋藤由美子(大倉) 三瓶淑子(大倉) 新国洋子(只見)



▲渡部教育長から賞状と盾を受け取る受賞者の皆さん

平成30年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会

研究者が只見町の新たな価値を発表！



▲研究発表に熱心に耳を傾ける聴講者

1月27日、平成30年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会が朝日振興センターで行われ、町内外から38名が参加しました。

これは、只見町をフィールドに自然環境や民俗文化などの調査研究を行い、町の価値や魅力を高めるもので、平成24年に開始され、今年度で7年目となります。今年度は、例年行われている「自然首都・只見」学術調査助成金事業により助成を受けた研究者4名の成果発表に加え、平成29年度より只見町が実施している沼ノ平総合学術調査の途中成果報告が行われました。

開会にあたり、菅家町長が「只見町は、これまで町史編さん事業をはじめとした学術調査研究を実施し、その成果により『自然首都・只見』ブランドを確立し、ユネスコエコパークの登録を実現し

てきました。過疎高齢化の中にあっても、自然環境の保護・保全を図りつつ、地域資源の持続可能な活用を通じた地域社会の発展を目指すことこそが只見町のような山間地域が生き残る唯一の手段であるという確固たる確信のもと、ユネスコエコパークを枠組みとした地域づくりを推進しています。学術調査研究はこうした地域づくりを実現するために重要な役割を果たすと考えており、発表いただく成果が、只見ユネスコエコパークの推進に貢献いただけると期待しています」とあいさつしました。

第一部では、助成研究者4名から一年間の調査研究の成果が発表され、来場者と活発な質疑応答がなされました。ここでは、発表者の調査研究の成果を詳しくご紹介します。

伊南川の河川攪乱がハリエンジュと ヤナギ類の分布に及ぼす影響

新潟大学 農学部 生産環境科学科 庭野 元気さん



調査の目的・方法

ハリエンジュは、北アメリカ原産のマメ科の落葉高木で、日本には19世紀後半に導入され、法面緑化などに利用された。しかし、ハリエンジュは旺盛な繁殖力を有し、河川上流域で植栽されたものが下流域に分布を拡大し、自然の河畔林の景観や生物多様性に大きな影響を及ぼすことが問題となっている。只見町内の伊南川ではその上流域にハリエンジュが導入されたが、他地域に比べ大きな影響は認められない。本研究では、伊南川流域のハリエンジュの分布、更新形態、耐水性を明らかにし、伊南川におけるハリエンジュの分布特性の原因を考察した。

現地調査は檜枝岐村から只見町の伊南川本流においてハリエンジュの母樹分布調査、杉沢地区の中州において実生の群落構造調査を行った。また、耐水性を

調べるために、ヤナギ類と比較した耐水実験を行った。

結果・考察

伊南川本流におけるハリエンジュの母樹分布は中流域の中州、河畔に集中する分布が確認されたが、下流域では少なかった。しかし、下流域の中州では実生が多く確認されたことから、下流域にも種子散布されていることが考えられた。耐水実験では、実生の冠水処理による枯死率はヤナギ類よりハリエンジュのほうが高いことやハリエンジュは湛水により根系の縮小が引き起こされる可能性があることが分かった。

これらの結果から、伊南川におけるハリエンジュの分布は耐水性などの生活史特性と河川攪乱や水環境が関係していることが考えられた。



多雪地ブナ林における個体間・個体内の 相対葉群高に応じた開葉日の変化;葉形質に着目して

横浜国立大学大学院 環境情報学府 西坂 志帆さん

調査の目的・方法

植物の開葉時期は、光獲得戦略において重要だが、多雪地ブナ林ではブナの優占度が高く同様な性質を持つ葉群が競争する状況にある。そのため個体間・個体内の葉群の高さによる開葉時期の変化に適応的意義があると考えられる。また、ブナは前年の光環境により冬芽の葉の内部構造が決まり、陽葉を早く、陰葉を遅く展開することが適応的であると考えられる。そこで、本研究では多雪地ブナ林において、群落内や個体内の相対高の違いと開葉時期との関係性を葉形質の違いを踏まえて明らかにする。

調査は、下福井ブナ天然林と榎戸ブナ二次林で行った。2017と2018年の4月から5月にかけて冬芽から開葉するまでの過程を観察・記録した。2018年には、観察個体の根元周囲の残雪深、樹冠の開花割合を調べ、夏

にいくつかの個体から葉を採取し、葉の形質調査を行った。

結果・考察

融雪は榎戸が下福井に比べ遅かった。下福井では、樹高や葉群の位置による開葉時期に明確な変化は確認されなかったが、榎戸では、樹高5.5m以下の個体で樹高が低くなるほど開葉日が遅れ、それ以上の樹高の個体は個体内の葉群高が高いほど早く開葉していた。また、榎戸では、陰葉的な性質の強い葉ほど遅く展開していた。

これらの結果から、各調査地で確認された個体間・個体内の開葉日の変化は、融雪時期・葉形質・前年の開葉日の影響を受けていると考えられた。

北限地域に分布するヤマグルマ林の 群集組成と林分構造

希少種保全研究会 菊地 賢さん



調査の目的・方法

ヤマグルマは常緑広葉樹で、仮道管を持つなど被子植物の中では原始的な特徴を有する。その生育環境は幅広く、亜熱帯・暖温帯地域を中心に日本列島東北地方の冷温帯まで達する。常緑広葉樹でありながら、寒冷地域にまで分布可能な背景を探ることを目的に、多雪環境下に成立するヤマグルマ林の樹木群集や林床植生の群集組成、更新状況を明らかにするとともに、ヤマグルマ林の成立する立地環境条件の解析も行った。

調査は只見町内の標高640m～1420mの山地の7カ所12調査区で行った。各調査区では、位置情報、方位、傾斜を計測した上、毎木調査や林床植生の群集組成調査、更新調査を行った。また、過去の研究の只見町の林分データと合わせて樹木群集および林

床植生の類型化を試みた。

結果・考察

解析の結果、群集組成は6群に分類され、そのうちヤマグルマを含む林分はヤマグルマ林型、キタゴヨウ林型、ブナ林型の3群にわかれた。特に高標高、急傾斜ではヤマグルマ型の群集タイプになる傾向が強いことから、ヤマグルマ林の成立が尾根部、急崖、風衝地と密接にかかわることが考えられた。また、代表的な林分で一山型の直径階分布を示すこと、多くの実生の発生が確認されたことからヤマグルマ林の更新は、急傾斜地の地表攪乱に伴う実生による一斉更新であると示唆された。一方、特に高標高・急傾斜の調査区では旺盛な萌芽更新がみられ、厳しい条件下でのヤマグルマ林の成立に萌芽更新が貢献していると考えられた。



只見町の植物資源における 機能性物質の探索

茨城キリスト教大学 生活科学部植物健康科学科 目黒 周作さん

調査の目的・方法

近年、肥満や糖尿病などの生活習慣病が増加し、社会的な問題になっている。一方、食品に含まれる機能性成分の活用が生活習慣病の予防に期待されている。本調査では、只見町内の植物資源について、機能性成分として特に生活習慣病の予防が期待される消化酵素阻害活性及び抗酸化活性に関して検査による選別とその評価を行った。消化酵素阻害活性は血糖値の急激な上昇や肥満予防に、抗酸化活性は活性酸素を消去する作用を持つ。

植物サンプルの採集は只見町布沢地域で行い、ヤマウルシ、フキ、ヤマグワ、カタバミなどを採取した。採取した試料を、乾燥させ粉末化したのち、抽出して試験溶液とした。試験は、アミラーゼ、リパーゼおよび α -グルコシターゼといった消化酵素と試験溶液を混合し、

どの程度消化が阻害されるかを調べた。また、活性酸素と同様の酸化作用を持つDPPH溶液に試験溶液を加えて、抗酸化活性を調べた。

結果・考察

α -グルコシターゼ阻害活性試験の結果、フキやヤマグワなどで比較的高い消化酵素阻害活性が認められたが、今後、さらに物質の精製・分離を行うなどしてどの物質が活性に関与しているか詳細な検討が必要である。

抗酸化活性試験の結果、ヤマウルシ、オオチドメは高い抗酸化活性を示した。

今回の調査により、只見町内の植物資源において機能性成分を持った植物資源を確認することができた。今後、より詳細な検討を行っていきたい。

第2部 沼ノ平総合学術調査の 途中成果報告

第二部では、平成29年度から只見町が実施している浅草岳の北東部に位置する「沼ノ平」の総合学術調査研究の途中成果報告が行われました。

沼ノ平は、ブナ林をはじめとする自然度が高い森林が存在し、地滑り地帯という不安定で特殊な立地環境にあり、そうした環境に依存した特異な生物が生息、生育している可能性が高い地域です。そのため、沼ノ平は只見ユネスコエコパークの自然環境生



▲沼ノ平の調査を進める研究者たち



▲沼ノ平に生息するアズマヒキガエル

物多様性を保護・保全する上でも重要な地域と言えます。しかし、その自然環境、生物相、生態系の実態はこれまで調査、把握されていないのが実情です。また、只見町は沼ノ平内の登山道を利用する一方で、近年、地震や豪雨により地滑り、土石流が発生していること、保護区の設定に変更があったことも背景となり、沼ノ平の自然環境・生物多様性の保護・保全とその持続可能な利用を図り、今後の最も適切な管理を検討・実施することが求められています。本調査研究は、そのための沼ノ平の自然環境、生物相および生態系に関する科学的な知見を得るために行うものです。

沼ノ平調査団団長である新潟大学農学部教授の崎尾均氏に沼ノ平や調査時の様子の写真を交えながら、平成29、30年度の2年間の植物調査の成果について報告いただきました。

沼ノ平総合学術調査の 途中成果報告

新潟大学 農学部教授／沼ノ平総合学術調査団団長 崎尾 均さん



これまでに沼ノ平の植物相の把握のため、2017年の7月・9月と2018年5月・8月と時期を変えながら、登山道沿いに出現した植物を採取し、標本の作成、植物種の同定を行っています。2017年の調査では、413標本を採取し、そのうち283種の植物が同定されました。今回の調査対象面積は、只見町の総面積のわずか0.4%ですが、これまで只見町で分布が確認されている植物種の26%が確認されました。

また、今回同定できた植物のうち16種が、新たに只見町に分布していることが分かりました。さらに、これまで只見町で調査が実施されてこなかったコケ植物の調査も実施しており希少な種などが確認され、新たな知見が得られています。

また、どのような植物群落が存在するかを把握するため植生調査も行っています。その結果、沼ノ平には

ブナ林のほか、サワグルミの溪畔林、ヤチダモの湿地林、土石流跡地に成立した植生など多様な植生が存在することがわかってきました。

このように沼ノ平が豊かな自然環境を有することが明らかになりつつあります。



▲地滑り地帯の危険な調査を進める研究者たち

町内企業の高度な技術や経営などが称えられる

「ふくしま産業賞」で会津工場が「金賞」、ヒロタテクノが「銀賞」

福島民報社が主催する「第4回ふくしま経済・産業・ものづくり賞（ふくしま産業賞）」の受賞者が昨年12月に発表され、只見町内から(株)会津工場が「金賞」、(株)ヒロタテクノが「銀賞」に輝きました。

このふくしま産業賞は、県内の地域性豊かなものづくりや独自の光る技術を持つ企業などを称えるもので、食品加工や製造業など106の企業・団体・個人から108件の応募がありました。

した。選考の結果、今年は35社が知事賞、福島民報社賞、金賞、銀賞、特別賞に選出され、見事只見町の2社も金賞と銀賞に入賞しました。金賞に輝いた会津工場は、自動車関



▲独自のHプロセス工法で製造する会津工場



▲最先端技術を駆使した試作用の複合機を導入しているヒロタテクノ

連部品を中心とした鋳物を製造しており、高精度で大量生産が可能な独自の「Hプロセス工法」で、国内外の自動車メーカーなどの受注を伸ばしています。このHプロセス工法は日本で会津工場だけの特殊技術で、従来の技術と比較すると、鋳造品の軽量化と加工工数の効率化による部品コストの削減に成功し、金型、鋳造、切削などの全工程を社内で一貫管理し、品質の高さと短期出荷を実現しています。この技術を生かし、近年ではアウトドアカーとも連携し、調理器具製造にも挑戦するなど企業の技術力と経営力が今回評価され、金賞受賞となりました。

また、銀賞に輝いたヒロタテクノは、カメラレンズの円筒部分を主に製造しており、1磅(0.001ミ)単位で加工する製品の精密さ、徹底した製品管理、検査体制が特徴です。大手カメラメーカー3社とも直接取引しており、高度な技術が評価されています。社内では、単純作業の工程にロボットを導入して省力化し、従業員は精密さが不可欠な工程を担っています。高精度・高品質な光学部品製造メーカーとしてだけでなく、地元の雇用を守る企業としても高い評価を受け、今回の銀賞受賞となりました。

ふくしま産業賞の表彰式は、2月8日に郡山市内で行われる予定です。

-Interview-



(株)会津工場
代表取締役社長
鈴木 直記さん
設立/1977年10月
従業員数/115人

今回の金賞を受け、とても光栄に感じております。会社を評価していただいたことよって、弊社で働きたいとの問い合わせも増え、人材確保の面でも良い反響がありました。

今後は、南会津町南郷地域の新工場が8月に稼働する予定なので、本社工場と同規模の生産を目指し、受注体制の整備や人員確保に力を入れていきたいと考えています。

-Interview-



(株)ヒロタテクノ
代表取締役社長
山内 宏二さん
設立/2009年3月
従業員数/67人

今年の3月で会社設立10周年を迎える節目の年に、このような賞をいただき社員一同大変うれしく思います。従業員の日々の努力に支えられながら、これまでの10年は設備投資を行い他者との差別化を図ってきました。これからの10年は人への投資として、海外からの従業員の確保やプロパー人材のレベルアップ育成に取り組み、更なる飛躍を目指したいと考えています。

地域に活力を与える米焼酎製造で称えられる
「ふくしま地産地消大賞」で合同会社ねっかが大賞!



▲賞状を手にする脇坂代表(中左)と副賞の絵皿を手にする三瓶さん(中右)、荣誉を称えた菅家町長と橋本副町長

1月23日、地産地消の優れた活動を称える「第4回ふくしま地産地消大賞」で、最高賞の「大賞」に輝いた合同会社ねっかの代表社員・脇坂齊弘さんと三瓶清志さんが役場を訪れ、菅家町長に受賞報告しました。

これは、県産品の消費拡大や観光施設の利用拡大など、県内で広く展

開する地産地消の取り組みを称えるもので、県が主催しています。今年度は24団体から4団体が出選され、見事「ねっか」が大賞に選ばれました。地元農家などをつくる「ねっか」は、

平成29年4月から只見産米を使用した米焼酎を販売し、海外の酒類品評会でも高い評価を得ています。梁取集落の空き家を利用して蒸留所やテイスティングルームを整備し、地域の交流の場としても活用されています。地域の小学生に田植えや稲刈りを体験する機会を提供し、子どもたちに郷土愛を伝える活動にも力を入れています。

受賞報告では、菅家町長が「香港の品評会で金賞、英国の品評会では2年連続の銀賞に輝き、今回ふくしま地産地消大賞を受賞し、『ねっか』の活躍が町のPRにもつながっています」と称えました。脇坂代表は「創業2年でこのような賞をいただき、大変うれしく思います。これも、地域の支えがあったからこそと思います」と話し、三瓶さんは「只見の農業を次の世代につないでいけるよう、今後も活動していきたい」と話しました。

目黒麹店の「極みそ300gカップ」
「ふくしま満天堂」のプレミアム商品に選ばれる!



▲内堀知事(中央)より表彰を受けた目黒麹店の目黒さん(後列左から2人目)

昨年の12月21日、県産農林水産物の6次化商品ブランド「ふくしま満天堂」の優良商品を決める最終審査が福島市で行われ、町内の目黒麹店「極みそ300gカップ」がプレミアム商品10点の一つに選ばれました。

この事業は、県産6次化商品のブランド力向上や販路拡大に向けて県が

昨年度から実施しているもので、首都圏の百貨店やバイヤーなどによる審査を経て、67事業者約170点の中から見事、極みそが選ばれました。この極みそは、只見産米を100%使用し、米麴を贅沢に使用したまろやかな風味が特徴の商品となっています。

表彰式では、目黒麹店の目黒大地さんが内堀知事から賞状とトロフィーを受け取りました。目黒さんは「プレミアム商品となったことを最大限活用し、販路を広げていきたい」と話しました。今後、プレミアム商品はふくしま満天堂ブランドとして、首都圏を中心に販売される予定です。



▲今回選ばれた「極みそ300gカップ」

地域の安全を守る決意新たに

「平成31年消防出初め式」

1月6日、朝日振興センターで「平成31年消防出初め式」が行われ、団員や婦人消防隊など約70名が出席しました。

無火災祈願祭では、菅家町長と目黒邦友消防団長が玉串をささげ、地域の安全を祈願しました。訓示では、菅家町長が「これからも町民の安全を守り、防火意識の向上を目指して頑張つてほしい」と述べ、目黒消防団長が「いつ起こるか分からない火災・災害に向けて、団員一同協力しあえるよう本年もよろしくお願したい」と話されました。出席者は、防火意識の高揚を誓い、地域の安全を守る決意を新たにしました。



▲団員や関係者の前で今年1年の安全を祈願する目黒消防団長

犯罪などをした人の更生支える

只見町の保護司に皆川徳二さん

前任者である山岸秀弥さん(只見)の任期満了に伴い、平成30年12月1日付で皆川徳二さん(只見)が、法務大臣から只見町の保護司に委嘱されました。

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアで、現在只見町保護司会には酒井孝雄さん(坂田)、目黒芳雄さん(只見)、渡部由美子さん(黒谷)、皆川さんの4名が委嘱されています。

1月11日、山岸さんと皆川さんが役場を訪れ、菅家町長に委嘱報告を行いました。皆川さんの任期は2年で、犯罪予防活動など多くの活動を行う予定です。



▲委嘱状を手にする皆川さん(中)と約16年務めた前任の山岸さん(右)と菅家町長(左)

梁取地区の伝統行事

蚕養万歳と早乙女踊りで新年祝う

1月12日、小正月に行われる梁取集落の伝統芸能「蚕養万歳」と「梁取早乙女踊り」が集落内の5軒で披露されました。

これは、新年を祝い五穀豊穰・家内安全などを祈願するもので、地域の子どもから大人までが参加する伝統行事です。

はじめに、保存会長の山内泰介さんが「地域の皆さんのご協力をいただきながら、梁取の郷土芸能を守っていきたい」とあいさつし、区長宅や祝いごとのあつた家々、合同会社ねっかを回り、家内安全や豊作などを祈願しました。



▲小・中・高校生が早乙女と道化を披露した「早乙女踊り」

今年も東京渋谷で交流を深める

「只見もちつき隊」が只見をPR

1月14日、若者や外国人で賑わう東京・渋谷で「新春道玄坂チャリティーもちつき大会」が行われ、町内の農家を中心とした「只見もちつき隊」約15名が、町産米の餅を振る舞いました。もちつき隊は、主催の渋谷道玄坂商店街振興組合などから依頼を受け、5年連続での参加となりました。

セレモニーでは長谷部健渋谷区長と橋本副町長があいさつし、その後米場者と一緒餅つきが行われました。会場では餅が販売されたほか、米焼酎「ねっか」や南郷トマトジュース「夏秋」の試飲も行われ、渋谷で只見の魅力が発信されました。



▲渋谷109の前で盛大に行われた餅つき大会、餅の売上金は全額寄付されました

雪まつりの会場準備に向けて

「雪運搬式」で作業の安全祈願

1月17日、第47回只見ふるさと雪まつりの大雪像などに使う雪の運搬式がJR只見駅前広場で行われ、オペレーターや関係者など約20名が出席しました。式では、菅家町長が「今年は雪が少ないですが、雪まつりが無事迎えられるよう皆さまのご協力をお願いしたい」とあいさつしました。続いての安全祈願では、菅家町長が雪を運ぶダンプカー6台のタイヤにお神酒をかけ、会場コーディネーターの小沼信孝さんの発声によりお茶で乾杯し、作業員などの安全を祈願しました。雪まつりは2月9〜10日の両日開催されます。

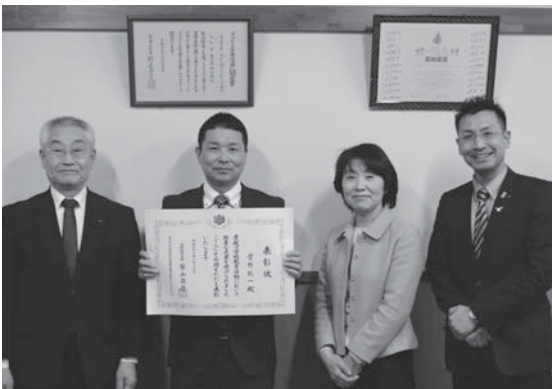


▲雪運搬の安全を祈願する関係者の皆さん

明和小の菅野先生が

文部科学大臣優秀教職員として表彰

1月21日、文部科学省の「平成30年度文部科学大臣優秀教職員」として表彰された明和小学校の菅野総一先生が役場を訪れ、菅家町長に受賞報告しました。これは、教員の意欲を高め、資質向上を目的に実施しているもので、全国の国公私立学校から773名が選ばれ、うち福島県では15名が選ばれました。菅野先生は前任校で、生徒指導主事として学校内外の児童の問題などに組織的に対応する体制づくりに貢献し、成果を挙げたことが評価されました。受賞報告では、菅家町長がその榮譽を称えていました。



▲菅家町長などに受賞報告した菅野先生(左から2人目)

朝日小が5年連続で入選!

平成30年度県教職員研究論文

1月22日、県が主催する「福島県教職員研究論文」の表彰式が役場で行われ、朝日小学校が5年連続で「入選」となりました。これは、教職員の研究を奨励し、教員個々の資質向上を目的としているもので、朝日小は「つながりの中で只見愛を育みながら、学び続ける子どもへの育成を目指して」をテーマに、ESD教育についてまとめたものです。表彰式では、南会津教育事務所の佐藤則之所長から朝日小の小林義弘校長に表彰状が手渡され、小林校長は「5年連続の入賞は学校の励みになります」と受賞の喜びを語りました。



▲佐藤所長(左)から表彰状を受け取った小林校長(中)と同席した渡部教育長(右)

町内2か所の文化財で実施

「文化財防火デー」で防火査察

1月22日、「第65回文化財防火デー」に伴い、文化財の防火査察が町内の2か所で行われました。これは、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、全国的に文化財を大災から守るための活動が行われています。只見町では、国指定重要文化財の「成法寺」と県指定文化財の「旧長谷部家住宅(叶津番所)」で行われました。査察では、広域消防署只見出張所、只見町消防団の目黒邦友消防団長、文化財の所有者が参加され、消防設備や消防器具の点検を実施し、文化財愛護の意識を高めました。



▲旧長谷部家住宅(叶津番所)の査察を行う関係者の皆さん

只見や新潟の6団体が映画「峠 最後のサムライ」を応援 支援の会が製作委に協賛金約2008万円を贈呈!

昨年の12月25日、長岡藩家老の河井継之助が主人公の映画「峠 最後のサムライ」を応援するための協賛金贈呈式が新潟県長岡市のホテルで開催され、奥会津只見継之助会や長岡商工会議所など6団体で構成する製作支援の会が、映画製作委員会に協賛金2008万184円を贈りました。

この協賛金は、支援の会の6団体がまちおこしになるとの判断のもと各地域の住民や事業所などから募ったもので、奥会津只見継之助会は80万9300円を贈りました。

贈呈式では、長岡商工会議所会頭で支援の会の丸山智会長が映画のPRをする松竹ナビの細内重夫

常務に目録を手渡し、奥会津只見継之助会の角田行雄会長は、映画製作に町民をあげて期待していることを述べられました。映画は2020年に全国公開される予定です。



▲映画「峠 最後のサムライ」協賛金贈呈式
▲細内常務(左から3人目)と制作支援の会6団体の代表(右から2人目が角田会長)

新年の飛躍を誓う

「平成31年只見町新年交歓会」を開催



▲目黒商工会長の発声で乾杯する出席者の皆さん

1月7日、季の郷湯ら里で「平成31年只見町新年交歓会」が開催され、金子隆司南会津振興局長をはじめ町外の来賓の方々を迎え、町内の事業者や団体など約130名が出席し、新年を祝いました。

年頭のあいさつでは、菅家町長が「今年は町制施行60周年を迎える節目の年。人口減少対策こそが私の最大の使命との認識のもと、本年も第七次只見町振興計画を理念に、『住民が主役のまちづくり』『住みやすいまちづくり』など5つの政策を柱に取り組みます」と述べ、続けて齋藤邦夫町議会議員が「本町は人口減少対策が最大の課題。議会と町当局は相互の役割を尊重し、切磋琢磨しながら全力を尽くします」と話しました。また、金子隆司南会津地方振興局長と星公正県議会議員が祝辞を述べられ、その後、只見松楓会が祝辞「鶴亀」を披露し、目黒長一郎只見町商工会長の発声で乾杯しました。祝宴では、はぎの会による華麗な舞踊が披露され、最後に橋本副町長の万歳三唱で、新年の飛躍を誓いました。



▲祝辞を披露する只見松楓会の皆さん

昔ながらの正月の遊びに触れる 各保育所で「かるた大会」開催

1月16日、昔ながらの正月の遊びを体験する「かるた大会」が各保育所で行われました。

只見保育所では、年少児のふたば組から年長児のさくら組までの22名が参加し、各組に分かれて行われました。子どもたちは正座して円になり、先生が札を読み上げると「はいっ!」と大きな声でかるたに手を伸ばしていました。

大会後、先生から「皆さん頑張りました」と全員に手作りの賞状が贈られました。



▲「はいっ!」と大きな声でかるたに手を伸ばす只見保育所園児の皆さん

只見中学校スキー部がアルペン・クロカン競技で大活躍! 「県中体スキー大会」各種目で好成績!東北・全国へ!

1月21日、猪苗代町で開催された「第61回福島県中学校体育大会スキー競技大会」に出場した只見中学校スキー部9名が役場を訪れ、菅家町長に大会の結果報告をしました。

今回の大会は、アルペン女子回転で鈴木来菜選手(2年)が見事優勝を飾り、クロスカントリー男子リレーも2位に入るなど、下記の結果のとおり選手たちが素晴らしい活躍を見せ、東北・全国大会への切符を手に入れました。報告では、3年の羽染宗都選手が「アルペン2名、クロカン7名が上位大会に出場する



▲菅家町長に報告した只見中学校スキー部の皆さん

ので応援をお願いします」と話し、優勝を飾った鈴木選手は「東北・全国大会が決まったので、精一杯戦えるよう頑張りたい」と話しました。選手たちは、宮城県と岩手県で行われる東北大会と新潟県で開催される全国大会にそれぞれ出場する予定です。

第61回福島県中学校体育大会スキー競技大会 結果(10位以内)

競技名	順位	氏名	学年	上位大会出場
アルペン女子回転	1位	鈴木来菜	2年	全国大会・東北大会
アルペン女子大回転	5位			東北大会
アルペン男子大回転	6位	羽染宗都	3年	東北大会
クロスカントリー男子フリー	6位	大竹優真	2年	全国大会・東北大会
	7位	五十嵐涼凱	3年	東北大会
	8位	山内大暉	2年	東北大会
クロスカントリー男子距離	9位	五十嵐涼凱	3年	東北大会
クロスカントリー男子リレー	2位	只見中学校		東北大会
クロスカントリー女子リレー	5位	只見中学校		
学校対抗 総合	女子総合(4位) 男子総合(5位) 男女総合(4位)			

地域の魅力・価値を再確認

「只見おもしろ学検定」上級に4名が合格！

昨年の12月、只見の自然・歴史・民俗文化などの価値を学ぶ「只見おもしろ学検定」が朝日振興センターと3小学校で開催されました。検定開始から4年目となる今回、114名の方が受験し、初級39名、中級19名、上級4名の方が合格しました。上級合格者は、鈴木勝喜さん(只見)、山岸秀弥さん(只見)、明和小学校教諭の荒川信一さん、明和小学校6年の山内ひかりさん(梁取)で、今回初めて小学生の合格者ができました。今回から各振興センターに、合格者一覧が掲示されています。また、今年度2回目となる検定会は3月16日に朝日振興センターで開催される予定です。



▲左上から上級に合格した鈴木さん、山岸さん、荒川さん、山内さん



▲「ブナの森の道具屋さん」を完成させた子どもたち

え、「ブナの森の道具屋さん～お客は森の生きものたち」をテーマに行われました。1回目は楯戸の観察の森で木や葉っぱなどの材料を探し、2回目は生きものたちの道具を考え創作し、3回目は展示会の準備を行いました。児童の作品は2月中旬頃までただみ・ブナと川のミュージアムの休憩室で無料見学でき、以降は浜通りの施設で展示される予定です。

只見の子どもたちが芸術体験 「福島こども芸術計画」

昨年11月から今年1月にかけて、地域資源を学ぶワークショップ「福島こども芸術計画」が只見町で全3回開かれ、只見地区の児童約20名が参加しました。これは、県内の子どもたちを対象にアーティストを派遣し芸術体験する事業で、福島県や東京都などが主催しています。今回は講師に身近な自然を活用するアーティスト・岩田とも子さんを迎え

早乙女踊りを披露しオンベで無災祈願 小川集落で「オンベ」開催

1月20日、小川集落の「オンベ(サイノカミ)」が行われ、多くの地域住民が集いました。小川集落では、オンベが始まる前に集会施設で小川早乙女保存会による伝統芸能「早乙女踊り」と小学生による「八木節」が披露されました。オンベでは、地域の五穀豊穡や家内安全などを祈願した神事が執り行われたほか、年男・年女の方や厄年の男女など9名による「黄金お菓子まき」が行われました。最後にオンベの火で焼いた餅を食べ、1年の無災を祈願しました。



◀地域住民の前で八木節を披露する子どもたち

▶オンベの火で餅を焼く地域住民の皆さん



南会津高校3年・山内花さん(二軒在家) 県高体スキー大会・県総体スキー大会で連覇!

南会津高校3年生の山内花さん(二軒在家)が「第64回県高校体育大会スキー競技」及び「第71回県総体スキー競技会」において、優勝・連覇という輝かしい成績を収めました。

山内さんは、1月10～12日に桜枝岐村の尾瀬桜枝岐クロスカントリースキーコースで行われた「第64回県高校体育大会スキー競技」で、女子クラシカル5kmと女子フリー5kmで優勝し、3年連続の2冠を達成しました。また、1月19～20日に猪苗代町クロスカントリーコースで行われた「第71回県総体スキー競技会」では、距離クラシカル少年女子5kmで4連覇を飾り、距離フリー女子5kmでも2連覇し、見事2年連続の2冠に輝きました。今後行われる全国大会、国体などでの活躍が期待されます。



▲(写真提供/福島民友新聞社)県高体スキー(桜枝岐村)で登坂を力走する山内さん

健康づくり事業「イイからだづくりプログラム」の最終回 全参加者で約100kgの減量達成!



▲3ヵ月間高い意識を持って参加した受講生の皆さんと支えた吉成トレーナー(下段右から3番目)



▲吉成トレーナー(右)から修了証を受け取る受講生

1月24日、只見町とRIZAP(ライザップ)が連携する健康づくり事業「イイからだづくりプログラム」の最終回・第8回講座が只見振興センターで開かれ、受講生19名が参加しました。これは、RIZAPトレーナーによる「3ヵ月間出張型プログラム」を只見町で開催しているもので、これまで11月から1月までの全8回の講座で、食事メニューやトレーニング方法などを学び実践してきました。

講座では、馬場博美保健福祉課長が「1回目と5回目を比較した中間発表では、全員で-56.2kgとした報告を受け、皆さまの努力が成果に表れています」とあいさつし、続いて行われた修了証授与式では、吉成大樹 RIZAP トレーナーから受講生一人ひとりに修了証が手渡されました。修了証を受け取った受講生からは、「RIZAPを始めてから食事メニューが大きく変わり、生活習慣が改善された」「講座は今回で終了するが、これがゴールではなく継続していきたい」「ウェストが-12cm減った」などの講座への感想や今後の目標を発表しました。RIZAPによると、3ヵ月間全8回の講座を終えた受講生20名の合計減量数は「-96.7kg」で、一人あたりの最大減量数は「-11kg」であったとされ、受講生の健康意識の向上と生活習慣の改善が図られました。

広報ただみ診療所

朝日診療所

所長 若山 隆



「看護師が不足しております」

大変恐縮ですが、今回は病気などの健康問題に関するお話ではなく、朝日診療所の看護師の業務と看護師不足についてお話しさせていただきます。

一般的な外来での看護師の業務として、採血や点滴などの処置、医師の診察の前後での症状や悩み事などの相談、体温や血圧などの測定をしています。また、皆さんの目につきにくい場所では、診療所で用いられる薬の管理（整理整頓から在庫管理など）、さまざまな検査機器の管理（採血検査や内視鏡などの器械や救命救急などで必要となる様々な器械の管理）などがあります。これらは大きな病院であれば薬剤師や検査技師などの専属の職種が行うのですが、朝日診療所のような規模の小さなところでは、看護師が担っています。診療所では入院患者の治療も行っており、容態の変化がないか常に注意しながら具合が悪い患者さんの身の回りのお世話（排せつの介助や食事の介助）をしています。また、朝日診療所では訪問看護も行っており、日中に患者さんのお宅まで伺って看護業務を提供したりもしています。

これらの業務をこなして、只見町の皆さまの安心・安全のため日々頑張ってくれている看護師さんですが、その看護師さんが足りなくなっています。もともと不足していましたが、2019年3月末で1名の看護師が定年退職を迎えるのを皮切りに、2021年3月末までに合計3名の定年退職者が出ます。代替りの看護師さんを募集中ではありますが、会津全体で看護師不足の傾向で、南会津病院をはじめ周辺医療機関でも看護師の募集をかけても人が集まらない状態です。

看護師不足になると、夜勤業務をこなしていくのが困難になります。夜勤業務は少数のスタッフで入院患者さんの治療を行いつつ、救急車を含む急病の患者さんを看なくてはならないので看護師の負担も大きい業務です。今後、場合によっては夜間の診療に影響がでてくるかもしれません。

皆さまの周りで、もし朝日診療所で働いてくれそうな看護師をご存じであれば、ぜひ診療所（TEL／84-2221）か只見町役場総務課（TEL／82-5210）までご連絡ください。

地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊

vol.51

渡辺 史



「積み重ねてきたもの」

この原稿を執筆している今から2年前頃、私は只見町に引越してきました。その時は本当に雪がひどくて、ここで一人暮らしをすることに不安しかない、そんな時期でした。水抜きをしないと凍る水道、どこからともなく侵入してくるカメムシ、絶え間なく降り続ける雪、雪道運転。一人暮らしは初めてではないものの、自分で自分を疑いたくなるほどそれまでの経験が役に立ちませんでした。

現在の私といえば…。カメムシが出れば何も言わず退治できるようになり、未だに怖さはあるものの雪道運転にも慣れつつあり、ああ今年は雪が少

ないな、只見らしくないなと思いを馳せるようになり、少しずつ方言も理解できるようになり、当時の私からは考えられないほどたくましくなりました。今年で只見3年目。町民の皆さまからすればまだまだ、とご指摘を受けそうですが、あの時はこうだったな、と振り返ることが出来るだけの時間を只見で過ごしてきたと思うと感慨深いものがあります。そういう時間を積み重ねてこられたのも、多くの町民の皆さまに支えられているからこそ。感謝の気持ちを忘れず、只見町の役に立てるように頑張ります。今年もよろしく願いいたします。

カエルとサンショウウオの楽園・ただみ④

只見町のカエル①

両生類と言って真っ先に思い浮かぶのは、やはりピョンピョン跳ねて水田でもよく鳴いているカエルでしょう。田んぼや小川で捕まえて遊んだり、オタマジャクシをすくったりした思い出のある方も多いのではないのでしょうか。福島県には全部で一種のカエルが生息しており、そのうち只見町では九種を見ることが出来ます。

カエル類はサンショウウオ類以上に多様な生態を持っており、生息環境や産卵の場所、時期、鳴き声などが種によって違います。とくに鳴き声はカエル類の大きな特徴の一つで、カエルを直接目にしなくても自然と耳に入ってきます。町のどこにいても何かしらのカエルの声を聴くことができ、春から夏の町内の風景の中には賑やかな、あるいは優雅なカエルの鳴き声が含まれていて、季節の移り変わりを感じさせてくれます。カエルは繁殖の時期にオ



▲ツチガエル 水田や池に多く、背中にイボがあり、捕まえると臭いを出す(長浜)



▲シュレーゲルアオガエル 鳴き声はよく聞くが、土中で鳴くため見かける機会は少ない(南会津町)

スが鳴くものがほとんどで、鳴き声にはメスを惹きつけたり、他のオスに対して自分の縄張りを主張したりする効果があります。鳴き声はカエルの種類によって違い、声を聴いただけでも種類を判別することが出来ます。水田で元気に鳴くニホンアマガエルや溪流で優雅に鳴くカジカガエル、山の湧き水の中で犬のような声で鳴くタゴガエ

ルなど、聞き分けられるようになってきます。さまざまなカエルの存在に気が付きます。上級者になれば鳴いているカエルの種類からその周囲がおおよそどのような環境なのか推測したりすることも出来ます。最近ではCD付きの図鑑やインターネット上で鳴き声を紹介しているサイトなどもありますので、カエルの声の聞き分けに挑戦してみてください

はいかがでしょうか。

只見町内の各所に広がる水田はカエル類にとって成体の住処として、また産卵場所やオタマジャクシの生育場所としても重要な環境の一つです。水田やため池などを主な住処にするのはトノサマガエル(只見方言「しまびつき」)やツチガエル(「とすびつき」)などの水生の傾向が強く、水からあまり離れないカエルたちで、いわゆる田んぼのカエルとして比較的よく知られています。トノサマガエルの鳴き声は一般にイメージされるカエルの声に近い、ンゲゲゲという声で水田の真ん中の方でよく鳴いています。ツチガエルはギユウギユウという声のため池や水路などで鳴いているのをよく見かけます。緑色の体でおなじみのニホンアマガエル(「あめびつき」)は人家や田畑の周りの草地にすんでいます。水田に水が入る時期になると産卵に訪れて大きな鳴き声を響かせます。

町内の水田の多くは山林に隣接しており、そのため森林にすんでいるカエル類の産卵場所としても使われています。町内で「あおびつき」と総称されるモリアオガエルやシュレーゲルアオガエルは普段は森林の木の上で生活し、産卵のために湿地や池に降りてきます。そして人家周辺の水田の畔やため池も産卵場所として利用します。モリアオガエルはやや大型のカエルで、六月ごろに少しくぐもったようなココロコッといった声で鳴き、畔や水際の草の上、池の上に張り出した木の枝などに白い泡状の卵塊を産むので見たことがある方も多いと思います。本種は樹上で産卵することで有名で、町内全域に生息していて個体数も多いカエルです。シュレーゲルアオガエルはあまり聞きなれない名前ですが、モリアオガエルよりも小型で外見はニホンアマガエルに似ています。町内での個体数は多く、五月六月ごろに水田でカラララッという軽快な鳴き声を響かせ、畔の水際の土中に潜って白い泡状の卵塊を産みます。モリアオガエルと違って卵塊が地上に露出することはまれですが、田起こしや代掻きの際に掘り起こされて水面に浮かります。



只見短歌会

十二月詠草

大塚栄一

指導

馬場 八智

間もなく根雪とならむこの頃はあれもこれもただ落ちつかず

関谷登美子

気配りてゐるつもりでも離れば煮豆再び噴きこぼれをり

新国由紀子

クリスマスケーキと御節蕎麦などと恒例なりし料理の届く

目黒 富子

子は早く育てばいいと思へども孫等はなるべくゆつくりがいい

渡部ヨリ子

巻くわらぬ白菜なれど冬の卓に緑の野菜は彩りを添ふ

新国 洋子

消息の遠のきし友ら思ひゐる窓辺ひすがら淡雪の降る

(出詠順)



只見俳句会

一月例会

目黒十一

指導

幸 生

輝かほの少国民や松根掘る
身構えて我が目を探る寒鴉

綿虫や「至急」と赤き回覧板
一步一步雨の路面を年忘

礼

信

昔々吹雪の夜や囲炉裏端
冬晴れの庭に一輪薔薇蕾

押し来るや雪に塗るる排土板
災の字を幸と入れ替え去年今年

一 穂

都

冬至の日確かと沈むや日和かな
暖冬や雨滴やまずして軒しずく

白銀の雪道包む夕陽かな
夫婦して労わりあつてお屠蘇かな

修 一

味代子

小春日や居間の日ざし猫眠る
冬うらら妊婦の両手子とつなぐ

息災の年でありたし鳥総松
老軀日々床暖たより風邪怖し

吉 児

弘 子

片すみに父在りし日の火鉢かな
奇跡をば病む友に欲し寒の雨

初夢を見るには見てもなにぬねの
雪晴や輝いているタイヤ痕

恒 夫



今月の お知らせ

お知らせ

日本政策金融公庫より
国の教育ローンのご案内

日本政策金融公庫が実施している「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学などに入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

●融資額

350万円以内

(子ども1人につき)

●金利

年1.78%

※母子家庭などは年1.38%

(平成30年11月12日現在)

●返済期間

15年以内

※母子家庭などは18年以内

●問合せ先

教育ローンコールセンター

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

☎0570008656

(ナビダイヤル)

☎03(5321)8656

※詳しくは、HP「国の教育ローン」

を検索してください。

NTTタウンページ(株)より

「防災タウンページ」について

日ごろからの備えや災害時の行動のポイントを盛り込んだ「防災

タウンページ 福島県版」がNTT

タウンページ(株)から発行され、1月

に「タウンページ」と一緒に県内の全

住戸・全事業所に届けられました。

付録として、「公衆電話+避難所

マップ」も付いていますので、災害発

生時はもちろん、いざという時に備

えて確認しておきましょう。

●問合せ先

タウンページセンタ

☎0120506309

受付/平日午前9時～

午後5時

定休日/土日祝日、年末年始

厚生労働省福島労働局より

福島県最低賃金のお知らせ

福島県最低賃金が次のとおり改

定され、パートやアルバイトにも適

用されますので、お知らせいたしま

す。

●福島県(地域別)最低賃金

平成30年10月1日発効

時間額/772円

▽産業や職種に関わりなく、県内

で働く全ての労働者とその使用

者に対して適用されます。

●特定(産業別)最低賃金

▽平成30年12月より特定の産業に

ついて設定され、「地域別最低賃

金」よりも高い金額水準で定め

▽詳しくはHP「福島県最低賃金」

を検索してください。

●問合せ先

福島労働局賃金室

☎024(536)4604

東北運輸局福島運輸支局より

自動車の登録・検査について

自動車の登録・検査手続きは、毎

年3月に集中し、窓口や車検場が

大変混雑します。名義変更や住所

変更、廃車、車検などの手続きは2

月中に行うなど、できるだけ早め

に済ませていただくようお願いいた

します。

●問合せ先

東北運輸局福島運輸支局

住所/福島市吉倉字吉田54

登録・検査関係について

☎050(5540)2015

税 今月の納期

2月25日までに

納めましょう

- 水道使用料(4期)
- 農集排使用料(2月分)

只見おもしろ学クイズ

(問題)

「あめよばれ」は、隣近所の婦人を招いてごちそうすることですが、どのようなものをごちそうしますか。

- ①のどあめ
- ②わたあめ
- ③水あめ
- ④こおりあめ

(答えは23ページです)



プナリン

町内外の選手が只見スキー場に集結 「只見毎日杯Gスラローム大会」開催！

1月27日、県スキー連盟公認の「第46回只見毎日杯ジャイアントスラローム大会」が只見スキー場で行われ、町内外の6歳から84歳までの計68名が出場しました。この大会は只見町、町スキー協会、毎日新聞社の共催で、昨年は大雪で中止になったため、2年ぶりの開催となりました。

大会は、年齢別に男子12部門、女子4部門に加え、未就学児対象のキッズチャレンジ部門を合わせた計17部門で行われ、2本の合計タイムで競われました。只見町からは「成年男子4部・男子大回転」で、只見スキーチームの目黒正さんが1分9秒4の好タイムで優勝するなど活躍を見せ、大会は大いに盛り上がりました。



▲果敢にコースを攻める選手の皆さん

「相続登記は お済みですか！月間」

福島県司法書士会では、2月を「相続登記はお済みですか！月間」として、県内各相談センター及び県内各司法書士事務所において、無料相談をお受けいたします。

「亡くなった人が多額の借金を残してしまった」「相続人の中に行方不明の人がいて協議ができない」「登記の名義人が先々代になっっている」など様々な相談が可能です。この機会にぜひご相談ください。

●司法書士の取扱業務

- ・ 土地、建物の登記
- ・ 相続、遺言
- ・ 会社の登記
- ・ 成年後見
- ・ 多重債務、法律相談 など

●無料相談予約番号

あいつ司法書士

総合相談センター

☎ 0120(81)5539

●問合せ先

福島県司法書士会

☎ 024(534)7502

町長スケジュール (1月分)

- 4日 仕事始め式(広域消防只見出張所、あさひヶ丘、役場町下庁舎)、臨時庁議
- 6日 只見町消防団出初式
- 7日 只見町新年交歓会
- 8日 奥会津五町村活性化協議会役員会
- 9日 年始知事懇談会(福島市)、県関係機関及び新聞社等年賀挨拶(～10日 福島市)
- 11日 定例庁議
- 16日 南会津地方環境衛生組合管理者会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方広域市町村圏組合協議会臨時会(南会津町)、南会津地方環境衛生組合協議会臨時議会(下郷町)、只見町商工会新年懇親会
- 17日 只見ふるさとの雪まつり雪運搬開始式、会津大学との連携に関する打合せ
- 18日 只見町農業再生協議会総会、只見川電源流域振興協議会事業ヒアリング

- 21日 町内小中学校受賞報告
- 22日 南会津地方環境衛生組合予算査定(下郷町)
- 23日 只見ふるさとの雪まつり実行委員会、会津医療センター副センター長来庁
- 24日 ふくしま防災塾トップ59(会津若松市)
- 25日 ユネスコエコパーク連絡調整会議
- 26日 只見町青少年健全育成主張大会並びに各種表彰式、青少年健全育成町民会議専門部会、毎日新聞社との懇談会
- 27日 只見毎日杯GS大会、自然首都ただみ学術調査研究助成事業研究成果発表会
- 28日 市町村職員年金者連盟只見会総会及び新年懇親会、只見町内小学校海洋教育成果報告会
- 29日 只見町議会1月会議、全員協議会
- 30日 福島県病院局長及び保健福祉部長要請活動(福島市)、東邦銀行只見支店親和会新年会

町民の消息

(12月26日～1月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

野中 悠理^{ゆうり} (女/智之・聡子) 福井

■おくやみ申し上げます

星 恭	94歳	小林
五十嵐 テツ子	94歳	小林
飯塚 環	92歳	坂田
吉津 行雄	90歳	長浜
酒井 ハル	100歳	只見
佐藤 トモ工	94歳	長浜
馬場 富恵	94歳	只見
天坂 慶子	78歳	小林
五十嵐 善治	85歳	長浜

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成31年1月1日現在

人口	4, 225 (-10)
男	2, 073 (-7)
女	2, 152 (-3)
世帯数	1, 859 (-3)
高齢化率	45.91%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5 転出 6 出生 1 死亡 10

あとがき

▽1月は、県内のインフルエンザが流行し、警報レベルになったと発表されました。インフルエンザは、高熱、関節痛など全身に症状が突然現れます。普通の風邪と同様、鼻汁、咳などの症状もみられます。まれに、乳幼児は脳症を、高齢者は肺炎を伴うなど、重症化するおそれがありますので、早期受診を心掛けてください。

▽今回の雪まつりの大雪像は北海道庁旧本庁舎「赤れんが庁舎」ということで、会場では連日準備が進められています。本号が発行されるときには、ちょうど雪まつり開催中です。只見町の一大イベント雪まつりにぜひおいで下さい！

(三瓶)

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

生涯学習サポーター
五十嵐愛

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★平成くん、さようなら



古市憲寿/著(文藝春秋)

平成を象徴する人物としてメディアに取り上げられ、現代的な生活を送る「平成くん」は合理的でクール、性的な接触を好まない。だがある日突然、平成の終わりと共に、安楽死をしたいと恋人“愛”に告げる。愛はそれを受け入れられないまま、二人は日常の営みを通して、いまの時代に生きていること、死ぬことの意味を問い直していく。なぜ平成くんは死にたいと思ったのか。そして、時代の終わりと共に、平成くんが出した答えとは――

若者の視点から現代日本について考えてきた著者が、軽やかに、鋭く「平成」を抉る!

若者の視点から現代日本について考えてきた著者が、軽やかに、鋭く「平成」を抉る!

★府中三億円事件を計画・実行したのは私です。



白田/著(ポプラ社)

1968年12月10日、府中で起きた未解決事件。あの日、何があったのか――。超話題作、緊急発売!

この場を借りて、ひとつの告白をさせていただきます。――府中三億円事件を計画、実行したのは私です。今なお語り継がれる未解決事件、完全犯罪として成立している事件の全貌を、皆さんにお話しいたします。1968年12月10日に東京都府中市で起きた『三億円事件』。「その犯人は、私です。」

奇しくも事件から50年目を迎える今年8月、突如インターネットサイトに投稿された小説によって、日本中が話題騒然となった。あの日、何があったのか――。昭和を代表する迷宮入り事件。ネット騒然の話題作、緊急発売!!

★その他にも図書コーナーにはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受け付けていますので、ぜひご利用ください。



只見おもしろ学の
答え合わせ!!

21 ページクイズ答え
③水あめ だよ!!
詳しくはガイドブック
P161 をみてね!

フナリン

コハクチョウ (学名: *Cygnus columbianus*)

[カモ目 カモ科]



▲手前のコハクチョウは水に首を突っ込んで採食している

今年も、只見町にコハクチョウが越冬のためにやってきました。町内で唯一の飛来地は塩沢地区の滝湖で、朝や晩にはよくその姿を見ることができます。ハクチョウは、主にシベリアで繁殖し、えさ場が凍る冬季になると温暖な日本にやってくる渡り鳥です。日本で越冬するハクチョウにはコハクチョウとオオハクチョウがいます。コハクチョウはオオハクチョウに比べ頸が短く、また、くちばしの黄色の部分^{くび}が鼻孔の手前で終わっており、面積が小さい点で見分けることができます。河川、湖沼などに生息し、水草の葉や根、落ち穂などを食べて過ごします。

只見町で初めてハクチョウが確認されたのは1983年で、滝湖に3羽が飛来しました。滝湖は滝ダムの建設によってできた人造湖ですが、これによりハクチョウが好む湖のような環境が生まれたと考えられます。その後、「只見町白鳥を守る会」の餌付けなどの活動があり、年々只見への飛来数が増加し、平均50羽のハクチョウが飛来するまでになりました。しかし、2011年の新潟・福島豪雨災害による河川環境の変化から、姿が見られなくなりました。豪雨災害から8年を経た今では、少しずつ、滝湖で越冬するハクチョウが確認されるようになりました。以前のような光景が見られる日もそう遠くはないのかもしれません。

企画展

「只見の外来生物 — その生態と影響」

と き:3月18日(月)まで開催中

ところ:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

講座

「外来生物をどう防ぐか—外来種問題を知るところから始めよう」

講 師:池上 真木彦 氏(国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター)

と き:2月17日(日)13:30~15:30

ところ:朝日振興センター 2階ホール(参加費/無料)

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください